

事業概要の説明

令和7年度太陽光発電を活用した先進的モデル等導入促進事業補助金

カメイ株式会社

令和7年9月

会社概要

地域密着型の総合商社として
エネルギー・食料・建設・住宅設備・調剤薬局
などの事業を展開

本社

宮城県仙台市青葉区国分町3丁目1-18

創業

1903年

コーポレート・スローガン

暮らしの中に未来をひらく

事業概要

■ 内容

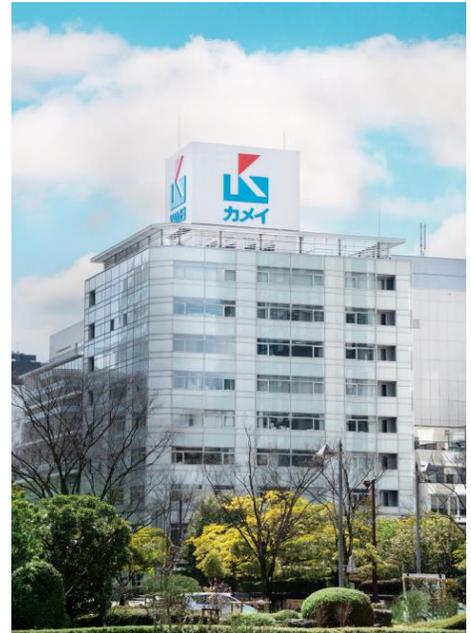
- ・ カメイビル（本社）への建材一体型（ガラス型）太陽光発電システムの導入

■ 導入検討箇所

- ・ ビル2 F北東角の応接室の窓ガラス（北面・東面）

■ 概要

- ・ ビルのZEB Ready化改修工事に併せて実施
- ・ 太陽光発電システムの発電電力を蓄電池に貯め
建物側の電気設備に接続せずに蓄電池から直接利用する



導入商品

① 太陽光発電システム

<販売会社：G.G.Energy（カネカ×大成建設の合併会社）>

T-Green® Multi Solar シースルー

透過型太陽電池



開口部

透過性を有した太陽電池であり、ガラス建材と同様に開口部へ使用。建築物に合わせた仕様・寸法対応が可能。

◆PV導入検討容量

約 **0.30 kW** (合計)

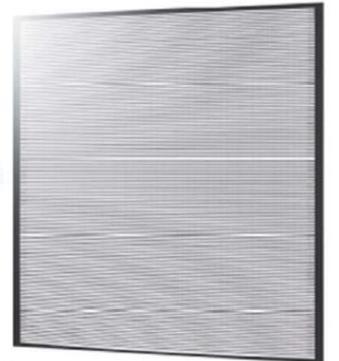
◆初年度期待発電量(参考値)

約 **140 kWh / year**

◆CO2削減効果

約 **55kg CO2 / year**

イメージ



シースルータイプ

© 2025 Kaneka Corporation

② 蓄電システム

<メーカー：エリーパワー>

蓄電池容量：計5kWh→2.5kWh×2基

可搬型大型リチウムイオン電池内蔵蓄電システム「パワーイレ・スリー」

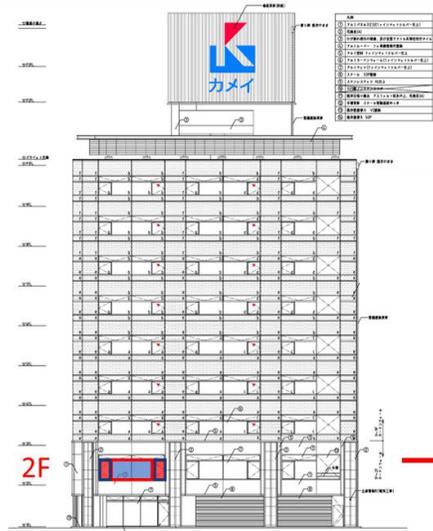
【電力消費想定機器について】 ■プロジェクター ■パソコン（設置部屋の用途：応接・会議室）

・発電電力量を考慮し、応接・会議室で使用するオフィス機器を中心に選定（発電電力量はすべて消費される計算想定）



設置イメージ (カメイ本社ビル)

ビル北面



ビル東面



先導性・モデル性

現在、実装可能かつ先進的な太陽光発電の導入手法

■先進性

- ・ガラス内部に太陽電池モジュールを組み込んだ建材一体型の太陽光発電システム（一定の透過性あり）
- ・ビル改修時など、窓ガラスを本製品に置き換えることで、再エネ導入が可能となる

■波及効果・モデル性

- ・特に県内都心部（ビル群）などにおいては、屋上などへの太陽光発電設置が困難、もしくは小容量となることが課題となる
- ・窓ガラスを活用した太陽光発電システムの設置は、今後の都心部の再エネ普及拡大の1つの可能性になると考える

実現可能性

具体性やスケジュールにおいて、十分な実現可能性を有している

■ 具体性

- ・ 本製品は建材一体型（ガラス型）太陽光発電システムで、先進的でありつつも実用化（社会実装）されている製品
- ・ カメイビル改修にあたり先進的な再エネ設備導入を検討した際、ペロブスカイト太陽光発電モジュールなどの情報収集を行ったものの、提案・見積依頼などに対応可能な事業者・メーカーが見つけれなかった
- ・ 一般的な太陽光発電システムと比べて割高ではあるものの、実用化されている製品で、実際に改修工事に組み込んで実装可能な「建材一体型太陽光発電システム」を選定し、導入計画を立てた

■ 遂行可能なスケジュール

- ・ 既存ビルのZEB Ready化改修の一環として、全体工程に組み込んでガラス型太陽光発電を設置

<全体スケジュール>

着工：令和7年2月、竣工：令和8年1月

<ZEB Ready化改修の主な内容>

- ①空調更新 ②照明更新 ③ガラス更新(断熱)
- ④太陽光発電・蓄電システム設置(令和7年9月予定)

スケジュール感	令和7年 3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	令和8年1月
①空調更新		←→					←→				
②照明更新		←→									
③ガラス更新(断熱)	←→										
④太陽光発電設置							↔				

環境負荷低減

「みやぎゼロカーボンチャレンジ2050戦略」取組に方向性が合致

■短期的（2030年度まで）な視点

（省エネルギーの推進,比較的導入までの期間が短い太陽光発電の普及）

- ・本品は実用化商品であり、窓ガラスを本品へ置き換えることで設置可能なため導入計画が短期間でも可能

■事業者・住民の削減活動促進

- ・視認効果・波及促進効果など（地域貢献・地域活性化項目へ記載）
- ・特にビル群地帯の今後の再エネ導入方向性の1案としてガラス型という選択肢を地域へPR

地域貢献・地域活性化①

カメイビルへの建材一体型太陽光発電システムの設置は 地域貢献・活性化に繋がる

■ 脱炭素先行地域

- ・カメイは仙台市の脱炭素先行地域づくり事業の共同提案者である
- ・定禅寺通（先行地域の計画エリア）の脱炭素化推進取組の一環として、自社の脱炭素化に加え、脱炭素ドミノを推進する立場として、波及促進のためのPRの場としても活用予定である

■ 見学会・普及啓発セミナーの開催

- ・ZEB Ready化改修の現地見学会の開催を計画中
時期：令和7年10月11日 実施予定（太陽光発電の設置後に実施）
対象：定禅寺通周辺のビルオーナー、設計会社、建設・設備会社 など
目的：周辺のビルオーナーや建設関係者などにZEB化・先進的な再エネ導入事例を周知することで地域貢献とカーボンニュートラル・再エネの波及効果も期待

地域貢献・地域活性化②

カメイビルへの建材一体型太陽光発電システムの設置は 地域貢献・活性化に繋がる

■ 場所の視認効果

- ・ 設置予定箇所（2Fのビル北東角の応接室の窓部分）は、
仙台市 市民広場から見える場所のため、広く周知効果あり

■ 弊社来客者へのPR

- ・ 設置場所が応接室であるため、来客対応時などにも先進的な太陽光発電の設置手法として
ガラス型太陽光発電を認識することによる再エネ意識の醸成・普及促進が可能

■ 外部電源として活用

- ・ 発電電気はビル1階外部にも電源取り出し口コンセントを設置し、発電した電力を供給（普段は施錠）
- ・ 脱炭素意識の醸成や緊急時などに、ビル外部へも給電可能なシステム構築を計画